

0-50/-01, 02

車いす 取扱説明書

このたびは、車椅子をお買い上げ頂きまして、まことにありがとうございました。お取り扱いになる前にこの「取扱説明書」をよくお読みの上、正しく御使用下さいますようお願い致します。



このマニュアルは次のように、ご覧下さい!

このマニュアルは9セッション(A~I)に分けて説明してあります。

- ①最初に、あなたが購入された**製品の機種名**を確認して下さい。機種名は車椅子の**フレーム側面**に表示してあります。(特注製品には、表示はありません。)
- ②このマニュアルの**3~4Pの一覧表**で、あなたの機種名を捜して下さい。機種名の表示がなかった製品(特注製品)は、4P右下の**特注製品の欄**をご覧ください。オプションはその欄をご覧ください。
- ③あなたの機種名の欄に表示された**各セッション毎の番号**を引いて、その説明を熟読して下さい。
- ④例) NS-1の**広げ方、折りたたみ方**の説明は、“NS-1”のA(広げ方、折りたたみ方)欄に“1”と表示がありますから、Aの頁(5~10P)の最初(5P)にある“1”欄にあります。

▲全車椅子に関する注意事項です。必ずお読み下さい!
お読みになった後、必ず保管して下さい。

一般的な注意点!

- 車椅子を投げたり落したりしないで下さい。
- 火気を近づけないで下さい。
- 腰かける部分以外には座らないで下さい。
- 1人乗りのものに2人乗りはしないで下さい。
- フットプレートの上で立たないで下さい。
- バックレストに重いものなどを引っ掛けしないで下さい。
- 車いすの乗り降りの際には、必ず左右両輪のブレーキを掛けて固定して下さい。ブレーキを掛けていても動く事があります。
- リクライニング時、ヘッドレスト部に荷重をかけないで下さい。
- タイヤを持って漕がないで下さい。(ブレーキで指を狭めます。)
- 倒れかかる様な座り方はしないで下さい。(転倒したり車椅子が壊れやすくなります。)
- 夜間、雨ふりは通行者や車から発見しにくくなります。
- シートベルトのあるものは必ず装着して下さい。

放置してはいけません!

- 直射日光のあたる場所。(車内も含む)
- ストーブ等火気を使用し、高温になる場所。
- 湿気の多い場所又雨のあたる場所。
- 子供が遊びに使える様な場所と保管方法。
- 急な坂、車道に近い所、人通りの有る所。
- リクライニングしたまま。(乗車時も含む)

介助が必要な時!

- リクライニング操作。
- エレベーター操作。
- 車椅子への乗降時(初心者及び重度な方)
- 急な坂道。
- 凹凸や段差の有る場所での移動。
- 踏切など溝のある場所での移動

介護者の注意点!

- 走行中搭乗者の身体の一部及び衣服がタイヤ、スポーク、キャスト及び地面、建物、通行者に触れたり狭まったりしないよう、車椅子に安全に座れているかを確認してから操作して下さい。
- 介護者は絶対に車椅子に乗って介護をしないで下さい。
- リクライニング時は不安定になります。もたれかかったり、通行者に触れたりしないよう注意して下さい。
- 痴呆症の方の場合は車椅子のシート、部品等を飲み込む事も考えられます。十分注意して下さい。

A 広げ方・折りたたみ方

座シート

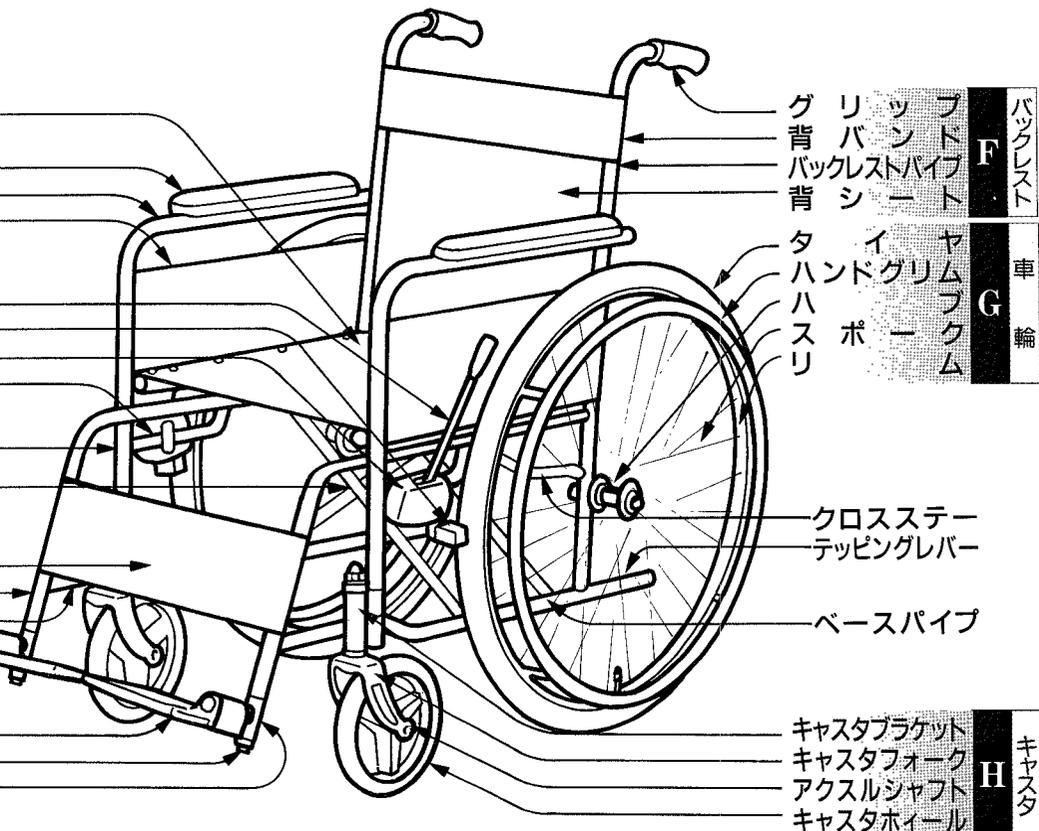
アームレスト
B アームレストパッド
アームパイプ
スカートガード

ブレーキ
C ブレーキレバー
ブレーキシュー
ブレーキ本体
ブレーキステア

フロントパイプ
クロスパイプ
(後はクロスバー)

レッグサポート
D レッグレスト
レッグパイプ
サポートパイプ

レッグサポート
E フットプレート
ステップ調整ボルト
ステップポスト

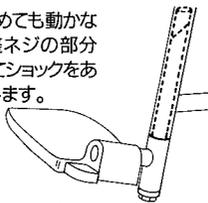
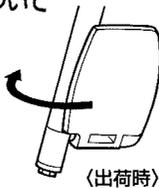


シート関係 I

フットプレートについて

出荷時は右端図の様に後方に回転させてある場合があります。調整ネジを緩め前方へ回転させ、ご使用者の身体に合わせて高さを調整してからしっかり締めて固定して下さい。

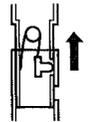
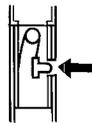
※調整ネジを緩めても動かない場合は調整ネジの部分を軽くたたいてショックをあてれば緩みます。



Sボタンの構造と使い方

〈取り外し方〉

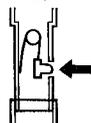
①Sボタンの上のパイプを握りもう片方の手の指でSボタンをパイプ表面よりもさらに奥まで押し込みます。



②そのまま上のパイプを上方へ引き抜いて下さい。

〈取り付け方〉

①受けパイプに差し込みパイプを少し入れて指先でSボタンを押込みます。



②受けパイプとSボタンで指をはさまないように注意しながら、Sボタンが受けパイプに少しかかるまで入れ、手を放します。



③パイプが合わせる部分で指をはさまないように注意しながら、Sボタンが固定穴からパチンと出るまで差し込んで下さい。

△Sボタンが固定穴にキチンと入っていない場合は抜ける恐れがありますから、十分注意して下さい！

A 拡げ方、折りたみ方…P5～10

B アームレスト…P11～12

C プレーキ…P13～14

D レッグサポート
(フットレスト)…P15～16

E レッグサポート
(フットプレート)…P16～19

F バックレスト…P20～22

シート
キャスタ
車輪
ハックレスト
レッグサポート
レッグプレート
レッグレスト
バックレスト
フレキ
アームレスト
折りたみ方
拡げ方

鉄製品

機種	A	B	C	D	E	F	G	H	I
NS-1	1	1	1	1	1	1	1	2	1
NS-1A	1	1	2	1	1	1	1	2	1
NS-1B	1	1	2	1	2	1	1	2	1
NS-2	1	1	1	1	1	1	1	1	1
NS-3	1	1	1	1	1	1	1	1	1
ND-10背折り	1	2	1	1	1	3	1	2	1
ND-10A	1	2	1	1	1	1	1	2	1
ND-10B	1	2	1	1	1	1	1	2	1
ND-11A	1	1	1	1	1	1	1	2	1
ND-11C	1	1	1	1	3	3	1	2	1
ND-12A	1	1	1	1	1	1	1	2	1
ND-12A M	1	1	1	1	1	1	1	1	1
ND-12A L	1	1	1	1	1	1	1	1	1
ND-12C	1	1	1	1	3	3	1	2	1
ND-12C M	1	1	1	1	3	3	1	1	1
ND-12C L	1	1	1	1	3	3	1	1	1
ND-13	2	2	1	1	1	4	1	2	1
ND-13A	2	1	1	1	1	4	1	2	1
ND-13B	2	1	1	1	1	4	1	2	1
ND-14	1	2	1	6	1	1	1	2	1
ND-14A	1	1	1	6	1	1	1	2	1
ND-14B	1	1	1	6	1	1	1	2	1
ND-15	2	2	1	6	1	4	1	2	1
ND-15A	2	1	1	6	1	4	1	2	1
ND-15B	2	1	1	6	1	4	1	2	1
NDH-15	2	2	1	6	1	4	2	2	1
ND-16A	2	2	1	7	1	4	1	2	1
ND-16B	2	2	1	7	1	4	1	2	1
ND-17A	1	1	1	4	1	1	1	2	1
ND-17B	1	1	1	4	1	1	1	2	1
NDN-18A	1	1	1	2	1	3	1	1	2
NDN-18B	1	1	1	2	1	3	1	1	2
ND-19	1	1	1	1	1	1	3	2	1
TY-1	1	1	3	1	1	1	1	2	1
NH-1A	1	1	3	1	1	3	2	1	2
NH-1AB	1	1	5	1	1	3	2	1	2

シート
キャスタ
車輪
バックレスト
レッグサポート
レッグプレート
レッグレスト
バックレスト
フレキ
アームレスト
折りたみ方
拡げ方

機種	A	B	C	D	E	F	G	H	I
NH-5	1	3	5	1	1	3	2	2	1
NH-6	5	1	5	1	8	1	2	1	2
NS-E	4	1	3	1	3	1	2	1	2
NCD-201ガード	1	1	2	1	1	1	1	2	1
NCD-202ガード	1	1	2	1	1	1	1	6	1
NCD-203ガード	1	1	2	1	1	1	1	6	1
NCD-101太郎	1	1	2	1	1	1	1	2	1
NCD-102花代	1	1	2	1	1	1	1	6	1
NHR-1	6	5	6	7	3	5	2	1	3
NHR-2	6	5	6	7	3	5	2	1	2

ステンレス製品

機種	A	B	C	D	E	F	G	H	I
NSW-10	7	7	3	—	7	9	2	6	4
NSW-11	7	7	—	—	7	1	—	4	4
NSW-12	7	7	3	—	7	9	2	6	4

アルミ製品

機種	A	B	C	D	E	F	G	H	I
NA-101	1	1	3	1	2	3	1	1	2
NA-101E	1	1	3	1	2	1	1	1	2
NA-102	1	1	1	1	1	3	1	1	2
NA-103	1	1	1	1	1	3	1	1	2
NA-104	1	1	1	1	1	3	1	1	2
NA-110A	1	1	1	1	1	3	1	2	1
NA-110Aデスク	1	1	1	1	1	3	1	2	1
NA-110B	1	2	1	1	1	3	1	2	1
NA-110Bデスク	1	2	1	1	1	3	1	2	1
NA-111A	1	1	1	1	1	3	1	2	1
NA-111Aデスク	1	1	1	1	1	3	1	2	1
NA-111B	1	2	1	1	1	3	1	2	1
NA-111Bデスク	1	2	1	1	1	3	1	2	1
NA-112A	1	1	1	1	1	3	1	1	1
NA-112Aデスク	1	1	1	1	1	3	1	1	1
NA-112B	1	2	1	1	1	3	1	1	1
NA-112Bデスク	1	2	1	1	1	3	1	1	1
NA-112AS	1	1	1	1	1	1	1	1	1

シート
キャスタ
車輪
ハンダレス
ポート
ハンダレス
ポート
ハンダレス
ポート
ハンダレス
ポート
ブレーキ
アームレスト
折りたためる
折りたためる

シート
キャスタ
車輪
ハンダレス
ポート
ハンダレス
ポート
ハンダレス
ポート
ハンダレス
ポート
ブレーキ
アームレスト
折りたためる
折りたためる

機種	A	B	C	D	E	F	G	H	I	
NA-113A	1	1	1	1	1	3	1	1	1	2
NA-113Aデスク	1	1	1	1	1	3	1	1	1	2
NA-113B	1	2	1	1	1	3	1	1	1	2
NA-113Bデスク	1	2	1	1	1	3	1	1	1	2
NA-113AS	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2
NA-114A	1	1	1	1	1	3	1	1	1	2
NA-114Aデスク	1	1	1	1	1	3	1	1	1	2
NA-114B	1	2	1	1	1	3	1	1	1	2
NA-114Bデスク	1	2	1	1	1	3	1	1	1	2
NA-115A	1	1	1	4	1	3	1	1	1	2
NA-115Aデスク	1	1	1	4	1	3	1	1	1	2
NA-115B	1	2	1	4	1	3	1	1	1	2
NA-115Bデスク	1	2	1	4	1	3	1	1	1	2
NA-116A	1	1	1	6	1	3	1	2	2	2
NA-116Aデスク	1	1	1	6	1	3	1	2	2	2
NA-116B	1	2	1	6	1	3	1	2	2	2
NA-116Bデスク	1	2	1	6	1	3	1	2	2	2
NA-117B	2	2	1	6	1	4	1	1	1	2
NA-117Bデスク	2	2	1	6	1	4	1	1	1	2
NA-118B	2	2	5	6	1	4	2	2	2	2
NA-118Bデスク	2	2	5	6	1	4	2	2	2	2
NA-119A	1	1	1	1	1	3	3	1	1	2
NA-120	1	1	1	1	1	10	1	1	1	2
NA-122	1	1	1	1	1	3	1	2	2	2
NA-123A	1	1	1	1	1	3	1	1	1	1
NA-123Aデスク	1	1	1	1	1	3	1	1	1	2
NA-123B	1	2	1	1	1	3	1	1	1	2
NA-123Bデスク	1	2	1	1	1	3	1	1	1	2
NA-123AS	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2
NA-1 NA-2	1	1	1	1	1	3	1	1	1	2
TA-001A	1	1	3	1	1	1	1	2	2	2
TA-002A	1	1	3	4	1	1	3	1	2	2
TAE-1	1	1	3	1	1	1	1	2	2	2
TAE-1C	1	1	3	1	1	3	1	2	2	2
TAE-1Cブレーキ	1	1	3	4	1	1	3	1	2	2
TAE-2C	1	1	3	4	1	1	3	1	2	2

機種	A	B	C	D	E	F	G	H	I	
NAH-101	1	1	5	1	2	3	2	1	2	
NAH-201 NH-2A	1	1	3	1	1	3	2	1	2	
NAH-202	1	1	3	1	1	3	2	2	2	
NAH-203	1	1	5	1	2	1	2	1	2	
NAH-205	1	4	5	1	1	3	2	2	2	
NAH-205U	1	8	1	4	1	1	3	2	1	2
NAH-115U	1	8	1	4	4	1	3	2	1	2
NAH-206	1	1	5	1	1	3	2	1	2	2
TH-2SB	1	1	5	1	1	3	2	2	2	2
NEW MOS	1	6	1	1	5	6	1	4	3	5
NAP-1	3	1	1	1	6	1	4	2	5	5
NAP-2	3	1	1	1	6	1	4	2	5	5
NAP-5	3	1	1	8	1	6	1	4	2	5
NAP-7	3	1	1	8	1	6	1	4	2	5
NAP-8	3	1	1	8	1	6	1	4	2	5
NSP-1B3	—	—	—	1	12	6	4	2	5	5
NSP-1B4	—	—	—	1	12	6	4	2	5	5
NSP-2J3	—	1	—	—	13	1	5	5	5	5
NSP-4B3	—	1	—	—	14	1	4	2	5	5
木製車いす	—	1	1	1	9	1	4	2	3	3
NAH-207 携帯用車いす	10	8	6	—	15	1	2	2	5	5
6輪車(折りたたみ)	1	1	1	1	1	10	1	1	2	2
NAE-1	1	1	3	1	2	1	1	1	2	2
NAE-1C	1	1	3	1	2	3	1	1	2	2
NAE-2	1	1	5	1	2	1	2	1	2	2
NAE-2C	1	1	5	1	2	3	2	1	2	2

※記入されている番号の欄をご覧下さい

セミオーダー及び特注製品

A	B	C	D	E	F	G	H	I

オプション

○印の番号欄をご覧下さい

1	2	3	4	5	6	7	8	9
---	---	---	---	---	---	---	---	---

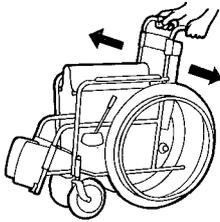
特別仕様

A セクション

車椅子の拡げ方・

拡げ方

1

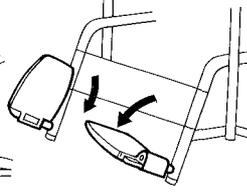


①グリップを持って軽く左右に拡げて下さい。

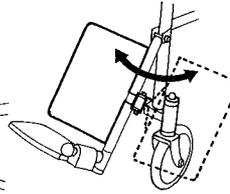
△押し下げる時座面パイプより下に手や指を入れないで下さい。危険です。



②片方のグリップを持ち上げるように反対側の座面端のパイプ部を下の方へ押し下げます。



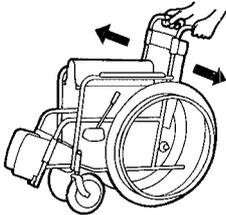
③フットプレート(足台)を下方へ回転させるようにセットします。乗ってからののが一般的です。



④レッグパッドのついている車椅子はフレームの外側から内側へ回転させてセットします。

拡げ方

2

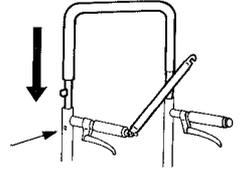


①グリップを持って軽く左右に拡げて下さい。

△押し下げる時座面パイプより下に手や指を入れないで下さい。危険です。

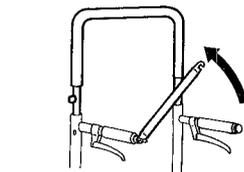


②片方のグリップを持ち上げるように反対側の座面端のパイプ部を下の方へ押し下げます。

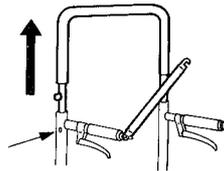


③Sボタンを押し込みながらヘッドレストを上から差し込み、Sボタンを下のパイプの固定穴に入れます。ノブネジ式は、差し込んでネジを締め固定します。

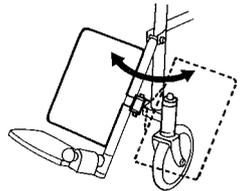
折りたたみ方



①グリップ後の補強パイプの右側固定ネジをゆるめてパイプを起こすように回転させてたためます。



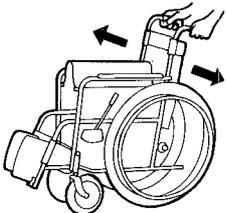
②図の↓位置にある固定ネジをゆるめ(Sボタンの場合は押し込みながら)、ヘッドレストを抜き上げて取り外します。



③レッグパッドのついている車椅子はフレームの内側から外側へ回転させて収納します。

拡げ方

3

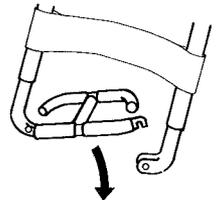


①グリップを持って軽く左右に拡げて下さい。

△押し下げる時座面パイプより下に手や指を入れないで下さい。危険です。



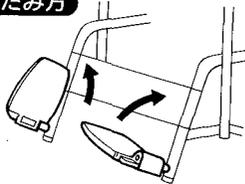
②片方のグリップを持ち上げるように反対側の座面端のパイプ部を下の方へ押し下げます。



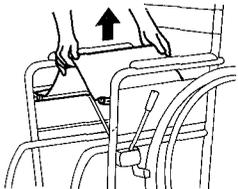
③フットプレート(ステップ)を内側へ倒しU字ミゾを受けにはめ込んで下さい。(中折れ式は自動的に拡がります。)

折りたたみ方

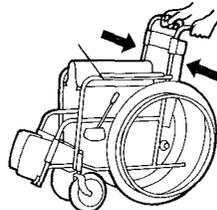
折りたたみ方



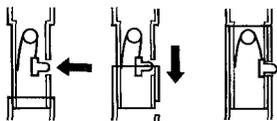
①レッグパッドのついている車椅子はフレームの内側から外側へ回転させて収納します。フットプレート(足台)を拡げるように上方へ回転させて折り曲げます。



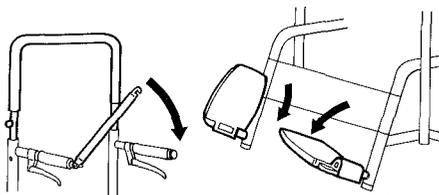
②座面シートの前、中央部を持ち上げます。



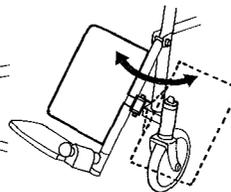
③グリップを持って左右から押し縮めるように、折りたたんでください。



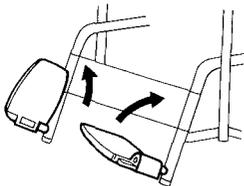
△Sボタンの場合、Sボタンを押しながらゆっくりと差し込み、ボタンが半分ぐらい入った所でボタンから指を放します。Sボタンが固定穴にカチッとセットされるまでしっかり差し込んでください。



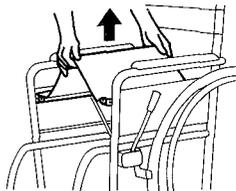
④グリップ後の補強パイプを内側へ倒すように下げ、パイプ切り込み穴をネジ部に入れ、締めて固定します。



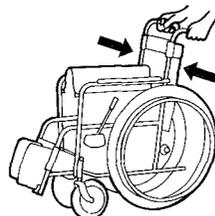
⑤フットプレート(足台)を下方へ回転させるようにセットします。レッグパッドのついている車椅子はフレームの外側から内側へ回転させてセットします。



④フットプレート(足台)を拡げるように上方へ回転させて折り曲げます。

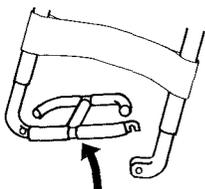


⑤座面シートの前、中央部を持ち上げます。

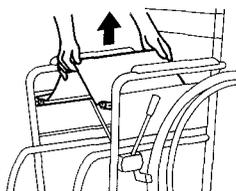


⑥グリップを持って左右から押し縮めるように、折りたたんでください。

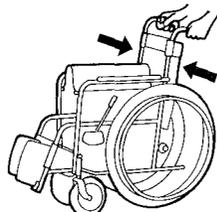
折りたたみ方



①フットプレートの左端を持ち上げ、フックから外し起こすように折りたたんで下さい。(中折れ式は自動的に折りたたみます。)



②座面シートの前、中央部を持ち上げます。



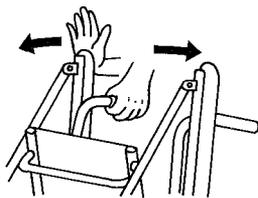
③グリップを持って左右から押し縮めるように、折りたたんでください。

A セクション

車椅子の拡げ方・

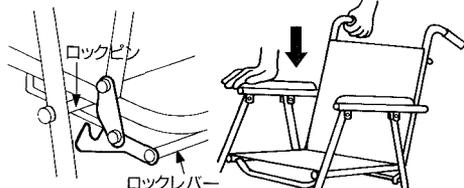
4

拡げ方

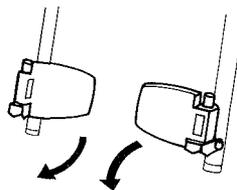


①グリップとアームレストの先端を持ち、開く様に押し拡げて下さい。

△必ずロックレバーがカチッとセットされたことを確認して下さい。



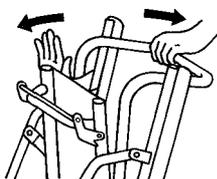
②そのまま拡げ続けロックレバーがカチッとロックされるまで押し拡げて下さい。



③フットプレートを前に引き出すように開き、更に前へ倒してセットします。

5

拡げ方

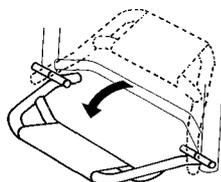


①押し手を握りシートパイプの前端を、手の平で前へ押し倒します。

△パイプの下に絶対に手を入れないで下さい。



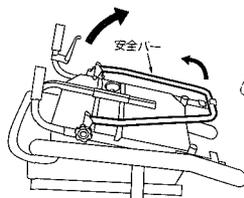
②押し拡げ、シート前下側のロックレバーの溝がロックピンに、ロックされた事を確認して下さい。



③ステップの横側を持ち、前方に持ち上げながら半回転してセットして下さい。

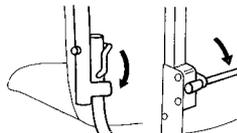
6

拡げ方

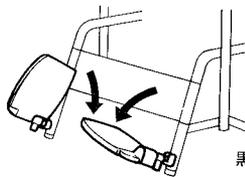


①グリップを持って背部を後方へ起こして下さい。

△リクライニング時には必ずブレーキをかけ安全バーを起こして下さい。

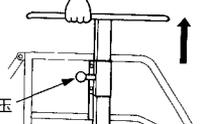


②背部固定レバーを上へ起こし、背部を更に後へ倒しレバーを受けに当てて固定して下さい。



③フットプレートを前に引き出すように開き、更に前へ倒してセットします。

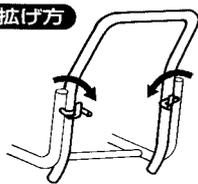
△黒ノブ玉がカチッと入り込みロックされた事を必ず確認して下さい。



④アームレストを黒ノブ玉が作動する所まで引き上げて下さい。

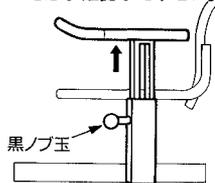
7

拡げ方

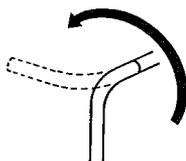


①背部を起こし、背部固定レバーをレバー受けに入れて下さい。背を後ろから座の下へ差し込んで止めるタイプもあります。

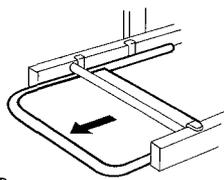
△黒ノブ玉がカチッと入り込みロックされた事を必ず確認して下さい。



②アームレストを黒ノブ玉が作動するまで引き上げて下さい。



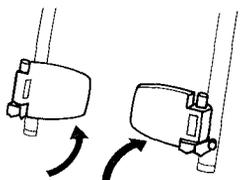
③下に垂れている状態のグリップを、外側上方へ3/4回転させてセットします。



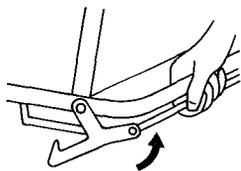
④ステップを前に引き出して下さい。

折りたたみ方

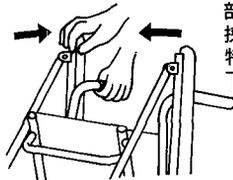
折りたたみ方



①フットプレートを後方に起こし、更に中央部を後方へ開くように回転させてたたみます。



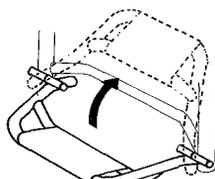
②折りたたみロックレバーを持ち上げるように後へ少し引っ張って下さい。(ロックが外れます)



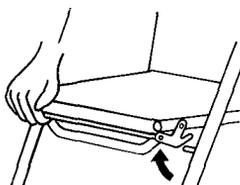
③グリップとアームレストの先端を持ち、持ち上げるように内側へずぼめて、折りたたみます。

△アームレストのジョイント部は、指等を挟み易いので特に注意して下さい。

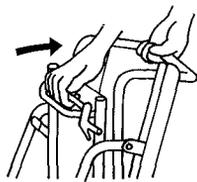
折りたたみ方



①ステップの手前を持ち上げながら後方へ半回転させ、シートの下に収納します。



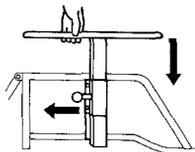
②シートパイプ前端の左右どちらかを上から押さえながら、セットレバーを引き上げ、ストッパーピンを外します。



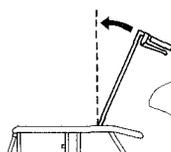
③そのままセットレバーを持ち上げ、押し手を握りながらたたんで下さい。

折りたたみ方

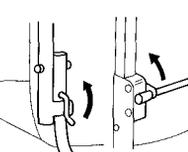
△いきなり黒ノブ玉を引くとアームレストが落下しますので注意して下さい。



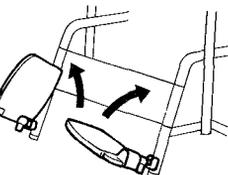
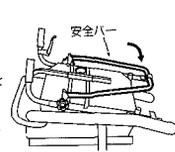
①片手でアームレストを持ち、もう一方の手で黒ノブ玉を前方に引き出して、収納して下さい。



②グリップのリクライニングレバーを握って、背もたれを垂直に起こして下さい。



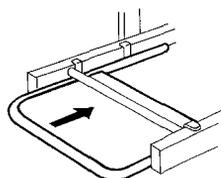
③背部固定レバーを回転してレバー受けから外し、上方に立てたまま背部を前方へ折りたたみ、安全バーも折りたたみます。



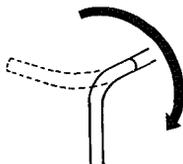
④フットプレートを後方へ回転させるように起こし、更に中央部を後方へ開くように回転させて折りたたみます。

折りたたみ方

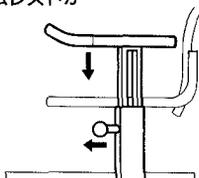
△いきなり黒ノブ玉を引くとアームレストが落下しますので注意して下さい。



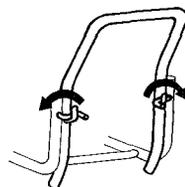
①ステップを後方に押し込み、フレーム内部に収納して下さい。



②グリップを上方外側へ回転させて下へ垂らします。



③片手でアームレストを持ち、もう一方の手で黒ノブ玉を前方に引き出して、収納して下さい。



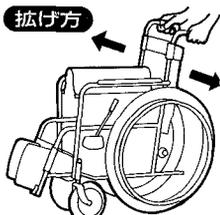
④背部固定レバーを上方外側へ回転させ、レバー受けから外し背部を前方へ折りたたんで下さい。座の下のネジを緩めて、背を後ろへ引き抜くタイプもあります。

A セクション

車椅子の拡げ方・

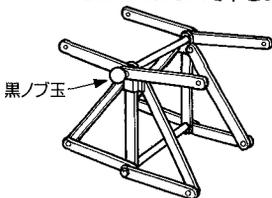
8

拡げ方



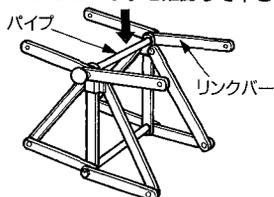
①アームレスト又はフレームを持って左右に拡げて下さい。

△フレーム内側の折りたたみ部分に手や指等を入れないで下さい。



②座面下中央の黒ノブ玉をいっばいまで、押し下げして下さい。

△リンクバー中央部が両端より下がっている事を確認して下さい。

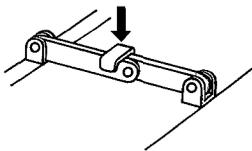


③広がり切らないときは座面下のパイプの中央部を押し下げして下さい。

9

拡げ方

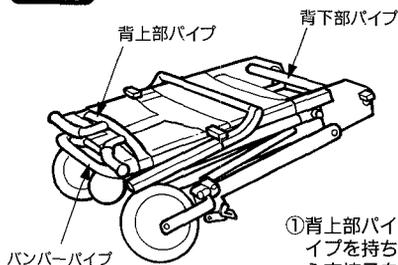
車椅子を拡げた後、巾止めを上から押し下げロックさせて下さい。



△手を挟まないよう、十分に注意して下さい。

10

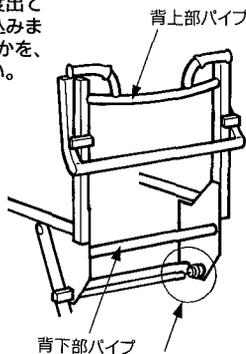
拡げ方



バンパーパイプ

△スライドピンは一度出て次にパチンと入り込みます。浮き出ていないかを、必ず確認して下さい。

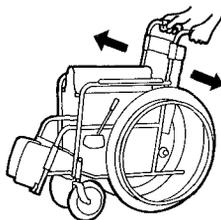
①背上部パイプとバンパーパイプを持ち、少し拡げてから車椅子を持ち上げるように背を引き起こします。スライドピンがパチンと入りロックするまで拡げて下さい。



背下部パイプ

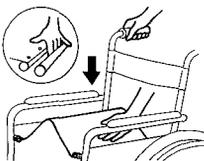
11

拡げ方

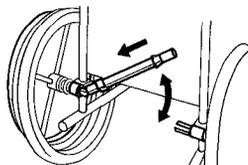


①グリップを持って、軽く左右に拡げて下さい。

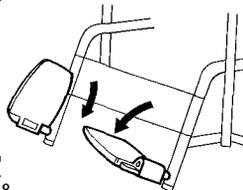
△押し下げる時座面パイプより下に手や指を入れないで下さい。危険です。



②片方のグリップを持ち上げるようにして、反対側の座面端パイプ部を下へ押し下げます。



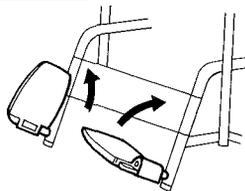
③ジャバラ式の場合はそのまま拡げる事ができます。パイプ式の場合は車輪内側に収納してある連結パイプをセットします。セットはマジックテープを外し、パイプを押し縮めながら反対側の車輪に凹凸を合わせ入れて下さい。



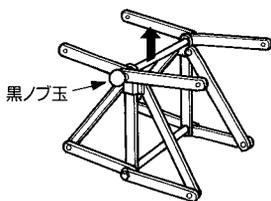
④フットプレート(足台)を下方へ回転させるようにセットします。(乗ってからするのが一般的です)

折りたたみ方

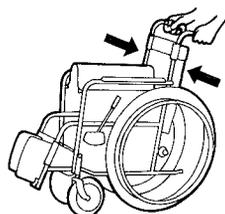
折りたたみ方



- ①フットプレート(足台)を上方へ上げるように回転させて収納します。



- ②座面下中央の黒ノブ玉を上方へ引き上げます。

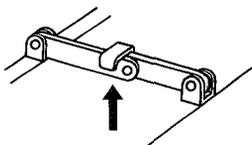


- ③アームレスト又はフレームを持って、左右から押し縮めるようにたたみます。

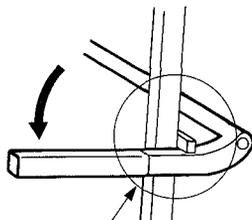
折りたたみ方

折りたたむ前にこの中止めの中央部を少し持ち上げて、折りたためる状態にしてください。

△この作業を先に行わず折りたたもうとするとフレームが変形する事があります。必ず折りたたむ前に行ってください。



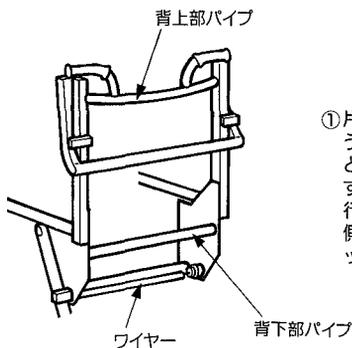
- ②アームレストの先端部を持ち、上から前方へ倒すように下ろします。



きげん

△アームレストジョイント部には手を置かないよう注意して下さい。

折りたたみ方



背上部パイプ

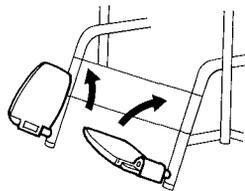
ワイヤー

背下部パイプ

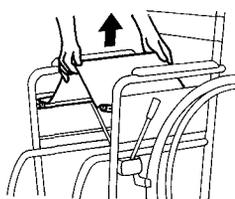
- ①片手で背上部パイプを、もう一方の手で背下部パイプとワイヤーを一緒に握ります。次に背を前方へ倒して行き、両手でフレームの外側から前後を押し縮めてピッタリ折りたたんで下さい。

折りたたみ方

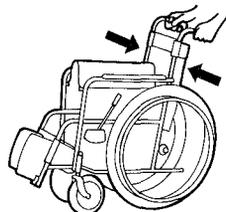
- ②ジャバラ式の場合はそのまま折りたためます。パイプ式の場合は、左右の車輪をつないでいる連結パイプを外します。方法は連結パイプ(駆動する車輪の反対側)を持って、押し縮め凹凸から抜き上方へ回転させ、立ててマジックテープで固定して下さい。



- ①フットプレートを拡げるように上方へ回転させて折り曲げます。



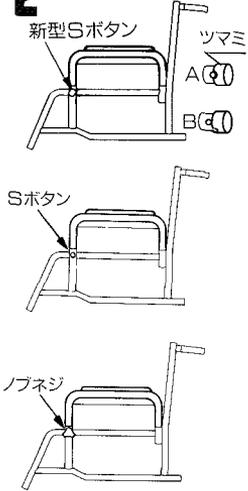
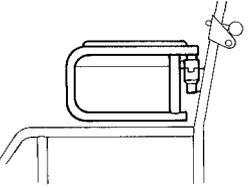
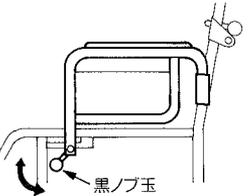
- ③座面シート前後、中央部を持ち上げます。



- ④グリップを持って左右から押し縮めるように、折りたたんで下さい。

B セクション

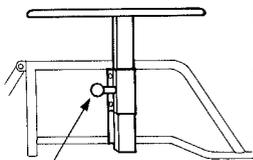
アームレスト

	操作の仕方	△注 意 点
<p>1</p>	<p>固定式です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●アームレストパッドを持って車いすを持ち上げないで下さい。
<p>2</p>  <p>新型Sボタン ツマミ A B</p> <p>Sボタン</p> <p>ノブネジ</p> <p>取り外し式です</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●取り外し方 【新型Sボタン式】 ツマミを引き出して半転させB図のように引き出した状態を保持させてアームレストを上方へ持ち上げて外します。 【Sボタン式】 Sボタンを指で押し込みながらアームレストを上方へ持ち上げて外します。 【ネジ式】 ノブネジを緩め、アームレストを上方へ持ち上げて外します。 ●取り付け方 【新型Sボタン式】 ツマミを引き出した状態で保持させ、アームレストをフレームに差し込みます。ツマミを半転させA図のようにパチンとロックします。 【Sボタン式】 アームレストをフレームに差し込み指でSボタンを押し込みながら受けパイプにSボタンが少し引っかったところで指を離します。Sボタンがパチンと出てセットされるまで差し込んで固定します。 【ネジ式】 アームレストをフレームに差し込みノブネジを締めて固定します。 ○Sボタン、ノブネジ等で固定しないで、上から差し込むだけのものもあります。 	<ul style="list-style-type: none"> ●新型Sボタン式、Sボタン式の場合は装着の際指を狭みやすいので十分注意して下さい。Sボタンの操作説明(P2)をお読み下さい。 ●アームレストを持って車椅子を持ち上げないで下さい。 ●左右、前後を確認して装着して下さい。
<p>3</p>  <p>開閉式取り外し式です</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●取り外し方 アームレストを持って傾けないように、まっすぐ引き上げれば取り外せます。 ●取り付け方 アームレストをフレームに平行に差し込み、凹凸を合せて下さい。 ●横開きの仕方 アームレストを持って凹凸の合せが外れる分だけ引き抜き外側へ回転させます。 	<ul style="list-style-type: none"> ●抜きやすくするため、抜け防止ストッパーはついていません。アームレストを持って車いすを持ち上げないで下さい。 ●アームレストを無理に横開きしないで下さい。 ●横開きの状態で上から押さないで下さい。 ●アームレストパッドの上へ腰掛けたりしないで下さい。
<p>4</p>  <p>黒ノブ玉</p> <p>開閉式取り外し式です</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●取り外し方 アームレスト前の黒ノブ玉を前方向に90度回転させ真横にして、アームレストを外開きしてからアームレストを上方へ持ち上げて外します。 ●取り付け方 アームレストを外側半開き状態で受けパイプに差し込みます。アームレスト前の黒ノブ玉を前方向真横にして、フレーム側と受け棒の間に差し込み黒ノブ玉が下になる様回転させて止めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ●開閉ロックレバーでロックされている事を確認してからご使用下さい(特に自動車などから降ろした後などは必ず点検して下さい) ●アームレストを持って車いすを持ち上げないで下さい。 ●ロックレバーを外した状態で上から押さないで下さい。 ●アームレストパッドの上へ腰掛けたりしないで下さい。

5

操作の仕方

△注意点



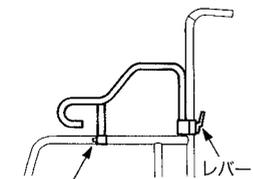
黒ノブ玉

上下スライド収納式です

- 下げ方**
アームレストを持ち(下側へ指を入れないように)黒ノブ玉を前へ引き出してアームレストをゆっくり下げます。
- 上げ方**
アームレストを持ち黒ノブ玉がパチンと入り込んで作動するまで引き上げて下さい。

- 黒ノブ玉をそのまま引っぱるとアームレストが落下して危険です。指等を狭む恐れがあります。アームレストを持ってゆっくり下ろして下さい。
- 黒ノブ玉のスライドピンが入り込みアームレストが落ちないようにロックされている事を確認して下さい。
- アームレストに腰掛けたり、強い力で押えたり、アームレストを持って持ち上げる等絶対にしないで下さい。

6



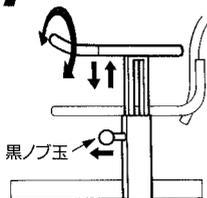
プッシュボタン

取り外し式です
(前後の両方でロック式)

- 取り外し方**
アームレスト後部のレバーを後ろへ倒して下さい。次に前のプッシュボタンを指で押し込みロックを外してアームレストをそのまま平行に上方へ引き抜きます。
- 取り付け方**
アームレストをフレームに平行に後部の差し込み口から先に差し込みます。半分ぐらい入れて前部も同じように入れ、さらに押し込むとプッシュボタンがカチと飛び出してロックされます。後部のレバーを後ろから上へ起こしてロックします。

- アームレストが完全にロックされているか確認して下さい。(前はプッシュボタンが出ている。後ろはレバーが上へ起きている)
- アームレストを持って車いすを持ち上げないで下さい。
- Ⓜ前差し込み口の中にゴミが入ったりしますとロックしなくなる事があります。時々点検清掃をし給油をして下さい。

7



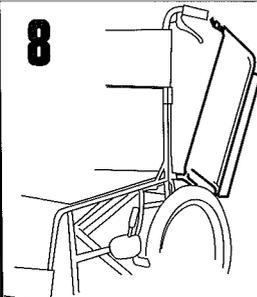
黒ノブ玉

上下スライド式です
(搭乗者用のグリップが収納可能)

- 収納のしかた**
アームレストのグリップ部を外側に回転させて垂らします。次にアームレストを片手で持ち黒ノブ玉を引き出してゆっくりと下へ収納して下さい。
- 上げ方**
アームレストを黒ノブ玉が作動する所まで引き上げて下さい。黒ノブ玉がロックされたら、垂れているグリップを外側から回転させて内側にセットします。

- 黒ノブ玉をそのまま引っぱるとアームレストが落下して危険です。指等を狭む恐れがあります。アームレストを持ってゆっくり下ろして下さい。
- 黒ノブ玉のスライドピンが入り込みアームレストが落ちないようにロックされている事を確認して下さい。
- アームレストに腰掛けたり、強い力で押えたりアームレストを持って持ち上げる等絶対にしないで下さい。

8



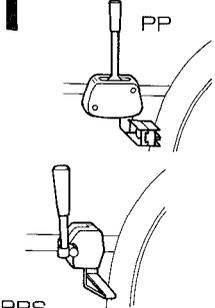
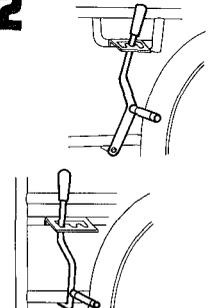
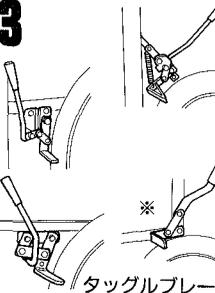
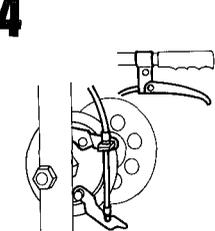
はね上げ式です

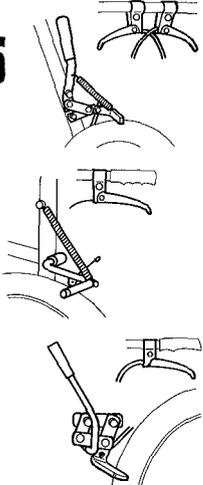
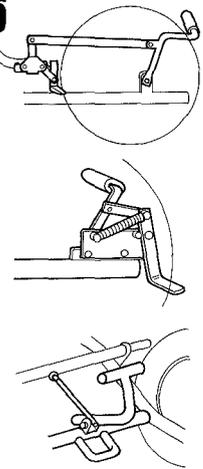
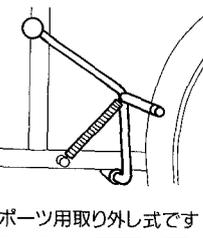
- はね上げ方**
アームレストの先端の部分を持ち、上へ回転させるように上げます。
- 下げ方**
アームレストの先端の部分を持ち、前へ回転させるように下げます。

- ジョイント部には手を置かないで、アームレストの先端の方を持って下さい。
- アームレストに腰掛けたり、強い力で押えたり、アームレストを持って持ち上げる等絶対にしないで下さい。

C セクション

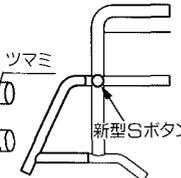
ブレーキ

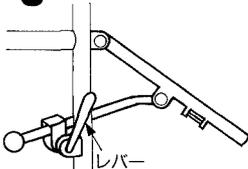
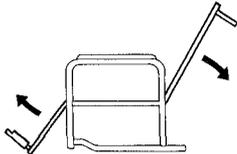
	操作の仕方	△ 注意 点	保守点検
<p>1</p>  <p>PP</p> <p>PPS</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●ブレーキのかけ方 ブレーキ上部のノブを前方へ押しても後方へ引いてもかかります。その中間の位置が解除です。 ○PPSブレーキの場合、押しにかかるようにするか、引いてかかるようにするかを、ブレーキの中へ部品を入れて変更する事が可能です。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ブレーキをかけた状態で坂を下りないで下さい。(タイヤ及びブレーキシューが早く摩耗すると、濡れた路面等で急に動きだす事が有り大変危険です) ●しっかりブレーキをかけていても、乗降時などで横から強い力が加わると車椅子は簡単に動いてしまいますので、十分注意して下さい。 	<ul style="list-style-type: none"> ●タイヤの空気圧は適当かどうか点検し不足している場合は補充して下さい。 ●ブレーキの利きがあまくなったら、ブレーキ取り付けネジを緩めてブレーキを移動させて調整して下さい。 ●ブレーキの戻りが悪くなる事があります。カバーの中へ注油して下さい。
<p>2</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ●ブレーキのかけ方 ブレーキ上部のノブを内側後方へ動かしてかけます。空気圧が少ないとか、強くブレーキをかけたい時は2段目から3段目に移動する等して使います。 ●解除の仕方 レバー上部のノブを内側後方へ動かして一番前の溝まで移動します。 	<ul style="list-style-type: none"> ●坂の途中では駐車しないで下さい。やむを得ず駐車する場合は2輪以上に車止めをして下さい。 ●ブレーキレバーなどに体重をあずけるような事はしないで下さい。 	
<p>3</p>  <p>タッグルブレーキ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●ブレーキのかけ方 ブレーキの上部のノブを後方又は前方(ブレーキシューがタイヤを押すように動く方向)へ倒せばかかります。 ●解除の仕方 ブレーキをかけた反対の方向へノブを戻せば解除します。 		<ul style="list-style-type: none"> ●タイヤの空気圧は適当かどうか点検し不足している場合は補充して下さい。 ●ブレーキの利きがあまくなったら、ブレーキ取り付けネジを緩めてブレーキを移動させて調整して下さい。 <p>(※印のものは調整式ではありません)</p>
<p>4</p>  <p>ドラムブレーキ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●ブレーキのかけ方 介護者用ブレーキ(ハンドブレーキ)レバーをグリップと一緒に握ればハブに内蔵されたブレーキがかかり、はなせば解除します。 ●ロック付の場合 レバーを握ったままロックピンを押し、そのままレバーをはなしてレバーが止まればブレーキがかかっています。レバーを握りロックピンがパチンともどれば解除されます。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ドラムブレーキは補助として使用し、駐車ブレーキには使用しないで下さい。危険です。 ●坂の途中では駐車しないで下さい。やむを得ず駐車する場合は2輪以上に車止めをして下さい。 	<ul style="list-style-type: none"> ●タイヤの空気圧は適当かどうか点検し不足している場合は補充して下さい。 ●ブレーキの握り代が多くなったり、左右がちがってきたら、ワイヤーの張りで調整して下さい。

	操作の仕方	△ 注意 点	保守点検
<p>5</p> 	<p>●ブレーキのかけ方 A) 本人が使う場合はブレーキ上部のノブを後方又は前方(ブレーキシューがタイヤを押すように動く方向)へ倒せばかかります。 B) 介護者用はブレーキレバーをグリップと一緒に握ればかかります。ロック付はレバーを握ったままロックピンを押してかけます。</p> <p>●解除の仕方 A) 本人用はブレーキをかけたのと反対の方向へノブを戻せば解除します。 B) ロック付介護者用はレバーを握りロックピンがパチンと戻れば解除できます。</p> <p>○介護者用(ロック付)のみの場合もあります。</p>	<p>●しっかりブレーキをかけていても、乗降時などで横から強い力が加わると車椅子は簡単に動いてしまいますので、十分注意して下さい。</p> <p>●坂の途中では駐車しないで下さい。やむを得ず駐車する場合は2輪以上に車止めをして下さい。</p> <p>●ブレーキレバーなどに体重をおずけるような事はしないで下さい。</p>	<p>●タイヤの空気圧は適当かどうか点検し不足している場合は補充して下さい。</p> <p>●ブレーキレバーの握り代が多くなったり左右がちがってきたら、ワイヤーの張りで調整して下さい。</p>
<p>6</p> 	<p>●ブレーキのかけ方 ベタルを足で踏み込む事により、ブレーキシューがタイヤを押さえてブレーキがかかります。</p> <p>●解除の仕方 踏み込んだベタルを足のつま先で上へ引き上げて解除します。</p>	<p>●ブレーキをかけた状態で坂を下りないで下さい。(タイヤ及びブレーキシューが早く摩耗すると、濡れた路面等で急に動きだす事が有り大変危険です)</p> <p>●しっかりブレーキをかけていても、乗降時などで横から強い力が加わると車椅子は簡単に動いてしまいますので、十分注意して下さい。</p> <p>●坂の途中では駐車しないで下さい。やむを得ず駐車する場合は2輪以上に車止めをして下さい。</p> <p>●ブレーキレバーなどに体重をおずけるような事はしないで下さい。</p>	<p>●タイヤの空気圧は適当かどうか点検し不足している場合は補充して下さい。</p> <p>●ブレーキの利きがあまりなくなったら、ブレーキ取り付けネジを緩めてブレーキを移動させて調整して下さい。</p>
<p>7</p>  <p>スポーツ用取り外し式です</p>	<p>●ブレーキのかけ方 ノブを持ち車椅子の外側へ少し引き出し後ろへ引きます。パイプを越えてパイプの後ろ側に掛けて止めます。</p> <p>●解除の仕方 ノブを外側へ引き出し、パイプを越えて前へ倒します。</p> <p>●取り外し方 バネの下を外し、ブレーキを少し後ろへ傾けながら外側へ引き抜きます。</p>		<p>●タイヤの空気圧は適当かどうか点検し不足している場合は補充して下さい。</p> <p>●ブレーキの利きがあまりなくなったら、ブレーキ取り付けネジを緩めてブレーキを移動させて調整して下さい。</p>
<p>8</p>  <p>収納型です POSブレーキ</p>	<p>●ブレーキのかけ方 ノブを持ち後方(ブレーキシューがタイヤを押すように動く方向)へ引き出すとがかかります。</p> <p>●解除の仕方 前方へもどす。</p>		

D セクション

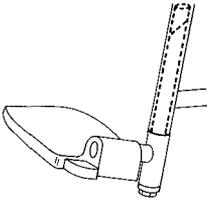
フットレスト

	操作の仕方	△注 意 点
<p>1</p>  <p>固定式です。</p>	<p>固定式です。</p>	<p>●取り付けの際、指等を狭みやすいので、ゆっくり順序通り進めて下さい。 (Sボタンの場合2P参照)</p> <p>●人が乗ってる時は、フットレストを持って車いすを持ち上げる事はしないで下さい。</p>
<p>2</p> <p>ツمامミ A B 新型Sボタン</p> <p>Sボタン</p> <p>前方から差し込みの取り外し式です</p>	<p>●取り外し方 フットレストを持ち一方の手でツمامミを引き出して半転させ、B図のように引き出した状態を保持させて(Sボタンの場合はボタンを押し込みながら)フットレストを前方へ引き抜きます。</p> <p>●取り付け方 フットレストを本体と平行に受けパイプに少し入れ、ツمامミを引き出した状態で保持させ差し込みます。ツمامミを半転させA図のようにパチンとロックさせます。Sボタンの場合はボタンを押し込みながら受けパイプにSボタンが少しかかった所で指を離します。Sボタンがパチンと出てセットされるまで差し込んで固定します。</p>	<p>●フットレストを持って車いすを持ち上げる事は絶対しないで下さい。</p>
<p>3</p> <p>ノブネジ</p> <p>上方から差し込みの取り外し式です</p>	<p>●取り外し方 ノブネジを緩めてフットレストを上方へ持ち上げて外します。</p> <p>●取り付け方 フットレストを本体と平行に受けパイプに差し込み、しっかりと入れたらノブネジを締めて下さい。</p>	<p>●フットレストを持って車いすを持ち上げる事は絶対しないで下さい。</p>
<p>4</p> <p>スライドピンレバー</p> <p>外方向に回転させて取り外せるスイングアウト式です</p>	<p>●取り外し方 レッグレスト(ついてるものは)を離してからスライドピンレバーを上方へ引き上げ一方の手でフットレストを外方へ開くように回転させて取り外します。</p> <p>●取り付け方 フットレストを前方、外向き、ななめで差し込みピンと差し込み穴の上下2ヶ所を共に入れ一方の手でスライドピンレバーを引き上げてフットレストを内側いっぱいまで回転させます。次にスライドピンレバーを下げて穴に落下し固定させてからベルトをつなぎ合えます。</p>	<p>●人が乗っている時、フットレストを持って車いすを持ち上げないで下さい。</p> <p>●スライドピンが下がりロックされたのを確認してからご使用下さい。</p>
<p>5</p> <p>角度調整板</p> <p>段階的に角度が調整出来るエレベーター式です</p>	<p>●角度の合せ方 フットレストを片手で少し持ち上げ、もう一方の手で角度調整板を持ち上げながらフットレストの角度を変えます。合せたい位置で角度調整板を下ろし、角度調整フックに掛けて止めます。</p>	<p>●人が乗っている場合は十分支えられるか重さを見てから行って下さい。</p> <p>●角度調整板を持つ手を狭みやすいので十分注意して下さい。</p> <p>●段差を登り・降りする場合、フットプレートの下が地面にあたって上ってしまう事もあります注意して下さい。</p> <p>●エレベーターの場合支える点からステップまでが長く、ぶつかったりすると曲りやすいので十分注意して下さい。</p>

	操作の仕方	△注 意 点
<p>6</p>  <p>無段階に角度が調整出来るエレベータリング式です</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●上げ方 フットレストを持ってそのまま持ち上げ角度を調整します。 ●下げ方 フットレストを片方の手で持ち少し持ち上げてから、レバーを前へ回転させて倒します。そのままフットレストの角度を変え、合せたい位置でレバーから手を離します。 	<ul style="list-style-type: none"> ●フットレストを持って車いすを持ち上げないで下さい。 ●物にあたってすぐ上ってしまう事があります注意して下さい。 ●フットレストの上へ乗ったり、重いものを乗せたりしないで下さい。
<p>7</p>  <p>バックレストと連動してるエレベータリング式です</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●バックレストを倒す事によりフットレストが上りバックレストを起す事により下がります。操作方法はリクライニングの説明をお読み下さい。(20P-4参照) 	<ul style="list-style-type: none"> ●乗っている人の足はだいたいぶか確認してから操作して下さい。 ●フットレストを持って車いすを持ち上げないで下さい。 ●フットレストを強い力で押すとかその上に座るとかしないで下さい。

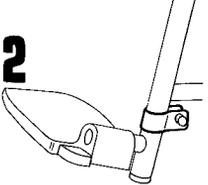
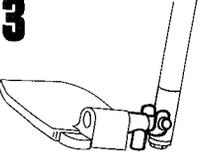
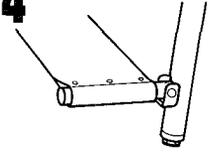
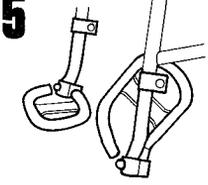
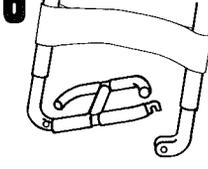
E セクション

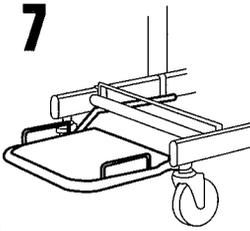
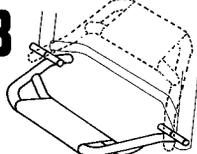
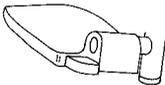
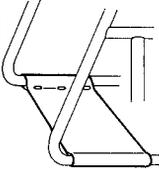
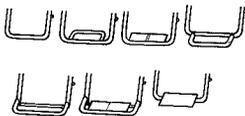
フットプレート

	操作の仕方	△注 意 点
<p>1</p>  <p>上下調整できて折りたためるステップです</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●ステップの上下調整の仕方 ステップ下端の調整ネジを付属のスパナで緩めて高さを合せてからしっかり締め付けます。(上下スライドしにくい場合は調整ネジを下からたたく様にショックをあたえると緩みます) <p>※出荷時は梱包や安全の関係で、ステップを外側後方に回転させてある場合がありますので上記のようにセットして下さい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●調整後はしっかりとネジを締めて固定してからご使用下さい。 ●あまり延ばし過ぎると段差、スロープ等でつまづく事が有ります。フットプレートが一番低い所で50%程度あった方が良いでしょう。 ●ステップに腰掛けたり、登ったりしないで下さい。

E セクション

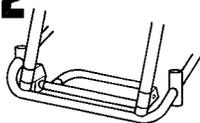
フットプレート

	操作の仕方	△注 意 点
<p>2</p>  <p>上下調整がクランプ式で折りたためるステップです</p>	<p>●ステップの上下調整の仕方 ステップの上方に有るクランプ締め付ボルトを緩めて高さを合せてからしっかり締め付けます。 ※出荷時は梱包や、安全の関係でステップを外側後方に回転させてある場合がありますので上記のようにセットして下さい。</p>	<p>●調整後はしっかりとネジを締めて固定してからご使用下さい。 ●あまり延ばし過ぎると段差、スロープ等でつまづく事が有ります。フットプレートが一番低い所で50%程度あった方が良いでしょう。 ●ステップに腰掛けたり、登ったりしないで下さい。</p>
<p>3</p>  <p>上下調整ができて折りたたんで収納出来るステップです</p>	<p>●ステップの上下調整の仕方 ステップ下端の調整ネジを付属のスパナで緩めて、高さを合せてからしっかり締め付けます(上下スライドしにくい場合は調整ネジを下からたたく様にショックをあたえると緩みます) ※出荷時は梱包や安全の関係で、ステップを外側後方に回転させてある場合がありますので上記のようにセットして下さい。</p>	
<p>4</p>  <p>ベルトで張った足乗せて上方へ折りたためるステップです</p>	<p>●ステップの上下調整の仕方 ステップ下端の調整ネジを付属のスパナで緩めて、高さを合せてからしっかり締め付けます(上下スライドしにくい場合は調整ネジを下からたたく様にショックをあたえると緩みます) ※高さ調整ができない固定式のものもあります。</p>	
<p>5</p>  <p>上下調整がクランプ式で折りたためるステップです</p>	<p>●ステップの上下調整の仕方 ステップの上方に有るクランプの締め付ボルトを六角棒レンチで緩めて高さを合せてからしっかり締め付けます。</p>	
<p>6</p>  <p>上下調整がクランプ式でたためるステップです</p>	<p>●ステップの上下調整の仕方 ステップの上方に有るクランプの締め付ボルトを六角棒レンチで締めて高さを合せてからしっかり締め付けます。 ●ステップの折りたたみ方 ステップの左側を持ち上げ、右側へ回転させて折りたたみます。 ●セットの仕方 車椅子を上げた状態でステップが右側に立ってるものを左側の凹凸が入るように下ろしてセットします。</p>	<p>●ステップ左側の凹凸がしっかり入ってる事を確認してご使用下さい。 ●高さ調整の際に、必ずステップの向きと凹凸の入る部分の角度をびったりするように合せて下さい。 ●車椅子折りたたむ際、凹の受け部分をはげしくぶつけたりしないで下さい。ステップがセットできなくなる事があります。 ●ステップに腰掛けたり、登ったりしないで下さい。</p>

	操作の仕方	△注 意 点
<p>7</p>  <p>前方へ引き出して使える スライド式ステップです</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●ステップの前端を持ち、前方へ引き出して使用します。 ●不要の時は後方へ押し込んで下さい。 	<ul style="list-style-type: none"> ●物にあたりると後方へステップが入り込んでしまう事があります注意して下さい。 ●ステップの上に物を乗せたり、腰かけたり、立ち上ったりしないで下さい。
<p>8</p>  <p>パイプにシートをかぶせたもので前から上後方へ回転させて収納するものです。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●出し方 ステップの横側を持ち、前方に引き出すように半回転してセットして下さい。 ●収納の仕方 ステップを手前に持ち上げながら、半回転させシート下に収納して下さい。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ステップの回転部分に近い所には、手を持って行かないようにして下さい。狭む恐れがあります。 ●ステップの上に物を乗せたり、腰かけたり、立ち上ったりしないで下さい。
<p>9</p>  <p>高さ調整はできませんが折りたためるステップです</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●高さ調整はできません。 ●ステップ内側端の部分を持ち、跳ね上げるように折りたたみます。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ステップの上に物を乗せたり、腰かけたり、立ち上ったりしないで下さい。
<p>10</p>  <p>高さ調整はできませんがベルトなので車いすがそのまま折りたためます</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●高さ調整はできません。 ●ベルトなので張り具合を少し変えて多少の調整ができます。 ●巾止めの付いてる場合は巾止めを折りたたむ様に中央部を持ち上げてから車椅子を折りたんで下さい。 	<ul style="list-style-type: none"> ●自動車積み用として簡単に車椅子が折りたたむためコンパクトにするためのものです。足に力が入る人、足の重い人の場合、ベルトへの荷重でフレームの前部分が狭められ、フレームが変形したりヒビが入る事が有ります。又座部分を浮き上がらせてしまう場合が有ります、無理なご使用はしないで下さい。 ●ステップの上に物を乗せたり、腰かけたり、立ち上ったりしないで下さい。
<p>11</p>  <p>スポーツ用で取り外しができます</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●取り外し方 Sボタンを左右同時に押し込みながらバンパーを下へ引き抜きます。 ●取り付け方 バンパーを左右同時に少し差し込み、左右のSボタンを押し込みながらSボタンが半分程パイプに入り込んだら、Sボタンから指を離します。Sボタンが固定穴からパチンと出るまで押し込みます。 	<ul style="list-style-type: none"> ●バンパーを取り付けずに車いすの先端をぶつけたりしますと、パイプが変形してバンパーが入らなくなる事が有ります。 ●バンパーを取り付ける際に指を狭む事が有ります。取り付け方の説明を良く読んで順序良く行って下さい。 ●ステップの上に物を乗せたり、腰かけたり、立ち上ったりしないで下さい。

E セクション フットプレート

12



上下調整がクランプ式で折りたたみはできません

操作の仕方

- 上下調整の仕方
ステップのクランプ締め付ボルトを左右共に六角棒レンチで緩めてから、高さを合せしっかり締め付けて止めます。

△注 意 点

- 調整の時は十分緩めて行って下さい。叩いたりしますとキズがついたりガタが出る場合があります。

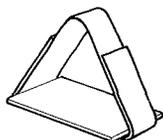
13



上下、前後の調整がクランプ式で調整できます。

- 前後、上下調整の仕方
ステップの上部の大きなクランプの締め付ボルトを六角棒レンチで緩めて、前後にスライドさせて合せ、締め付けて止めます。上下はステップのクランプの締め付ボルトを緩めて、高さを合せてから締め付けて止めます。

- 前後スライドの時はあまり強く締めないで下さい。締めすぎるとパイプが変形したりクランプがこわれる事があります。

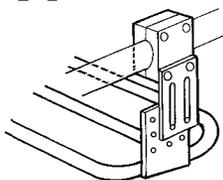


ベルトで板を吊り下げたもので高さ調整ができます。(レース用車椅子専用です)

- マジックテープで高さが調整できます。大変乗りにくいもので足を後方に曲げる方のみ適したタイプです。乗降時にこのステップに足を入れたり出したりする際転倒しやすいので必ずだれかに介助をしてもらって行って下さい。

- マジックテープはしっかり止めて下さい。ずれる恐れがあります。

14



- 前後調整の仕方
前後調整ボルトを左右共(日本)緩めてスライドさせて調整します。上下角度調整のボルト止め位置を前後に変更する事によっても変えられます。

- 上下角度調整
上下角度調整ボルト左右共(4本)緩めて調整します。又ステップを上下反対に又は左右を反対にする事で高さも角度も変えられます調整後はしっかりと締め付けて下さい。

- 前後調整ボルトはパイプをクランプしていますので締めすぎるとパイプに食い込む恐れがあります。注意して下さい。上下角度調整はしっかりと締めして下さい。調整の時は叩いたりしないで下さい。

- 左右を同じ位置で止める様にして下さい。狂っているとフレームまで影響する事があります。

15

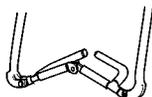


携帯用

- 短時間の移動に使うものでキャスト間のパイプの上に足を乗せて使用します。高さ調整はできません。

- 足が落ちない様注意して下さい。

16



中折れステップ

- 車いすを折りたたむと自動的に折りたたみます。

F セクション

バックレスト

1

操作の仕方

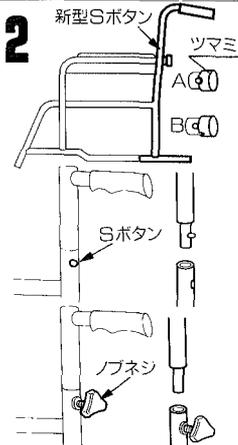
△注 意 点

グリップまで一体物で固定式です。

●バックレストに重いカバンなどを引っ掛けるとバランスが崩れる事がありますので注意して下さい。

⑧シートを止めてるネジの緩みなどないか点検して緩みのある場合は緩めて下さい。

2



上部がSボタン又はネジで取り外せます

●取り外し方

ツマミを引き出して半転させ、B図のように引き出した状態を保持させて(Sボタンの場合はボタンを押し込みながら、ネジの場合は緩めて)バックレストを一方の手で上方へ引っ張れば外れます。

●取り付け方

新型Sボタン式はパイプへ少し差し込んで一方の手でつまみを引き出した状態で保持させながらさらに差し込みます。ツマミを半転させA図のようにパチンとロックさせます。

Sボタン式の場合はSボタンを押さえながらさらに差し込みます。Sボタンを半分程度まで入れたらその手を離し、Sボタンが固定穴にセットされるまでしっかり差し込みます。(ネジ式は差し込んでしっかり締めて下さい)(Sボタンの場合2P参照)

●Sボタン式の場合一度に進めようとする指を狭みやすいので、十分注意して下さい。

●ネジ式はグリップを必ず後向きに正確にセットして下さい。

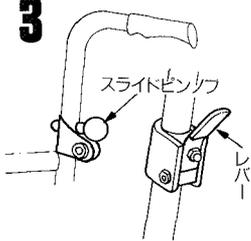
●人が乗ってる時はグリップを持って車いすを持ち上げたり、押えて前を浮かすような事はしないで下さい。

⑧パイプが拡がったりヒビが入ったりしていないか点検して下さい。

⑧Sボタンが機能してるかどうか点検して下さい。

⑧ネジがしっかり締られるか確認して下さい。

3



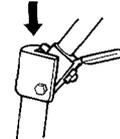
スライドピンノブを引くと(レバー式はレバーを押す)ロックが外れ後方へ折りたためます

●折りたたみ方

グリップを握り少し前へ押し、一方の手でスライドピンノブを引きながら(レバー式はレバーを押しながら)グリップを手前に引くように少し折り曲げ、反対側も同様に行います。次に左右同時に折りたたみます。

●固定の仕方

グリップを握り上方へ引き起すように持ち上げるだけでOK。その際スライドピンがカチッと出た事を必ずご確認ください。



この部分に手や指を置かないで下さい

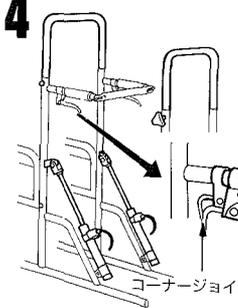
●人が乗ってる時はグリップを持って車いすを持ち上げたり、押えて前を浮かすような事はしないで下さい。

⑧スライドピンがうまく機能してるか点検して下さい。

⑧パイプが多くなって来ていないか点検して下さい。

⑧ヒビ、曲り等はないか点検して下さい。

4



無段階に背角度が調整できるリクライニング式です

●リクライニングレバーをグリップと一緒に握り後方へ倒し、止めたい位置でレバーを離せば止ります。(その際、介護者が胸や肩、腕でしっかり支えるようにして下さい)

●背折りたたみ機構の有るものはF-3(上欄)をお読み下さい。

●ヘッドレストが取り外し機構のものは、A-2拡げ方③、A-2折りたたみ方②をお読み下さい。

●補強パイプの有るものはA-2拡げ方④、A-2折りたたみ方①をお読み下さい。

●人が乗ってる時にグリップ及びヘッドレストで車いすを持ち上げたり押えて前を浮かすような事は絶対にしないで下さい。

●搭乗者の身体の一部及び衣服等をはさまないよう注意して操作して下さい。

⑧パイプの変形ヒビ等の点検をして下さい。

⑧メカニカルロックは正しく作動してるか点検して下さい。(ワイヤーの調整は適正か)

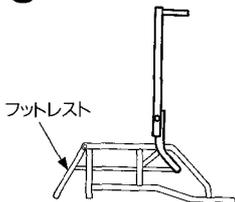
⑧握りがかたくなってきたら、ワイヤーケーブルとコーナージョイントに注油して下さい。

F セクション

バックレスト

5

フットレスト



無段階に背角度が調整できるリクライニング式です

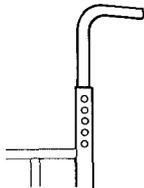
操作の仕方

- リクライニングレバーをグリップと一緒に握り後方へ倒し、止めたい位置でレバーを離せば止ります。(その際介護者が胸や肩、腕でしっかり支えるようにして下さい)
- フットレストは連動していますので同時に作動します。

△注 意 点

- 人が乗ってる時にグリップ及びヘッドレストで車いすを持ち上げたり、押えて前を浮すような事は絶対しないで下さい。
- フットレストと連動していますので、必ず搭乗者の足の位置も確認してから操作して下さい。
- 搭乗者の身体の一部及び衣服等を狭まないうち注意しながらゆっくり操作して下さい。
- 止めたい位置でキチッと止まるかどうか、使用前に必ず確認してからお使い下さい。

6



五段階の調整が可能なネジ固定式です

- マジックテープ止め式のシートを外しバックレストパイプ内側のネジを六角棒レンチで外します。次に高さを合せてネジで固定します
- 背シートをマジックテープで止める方法ですので緩めたり張ったりして調整できます。後はしっかりマジックテープが着くように押し合せて下さい。

- ネジは六角棒レンチでしっかりと締め付けて下さい。
- マジックテープが外れないようにしっかりと押し合せて下さい。

7

8

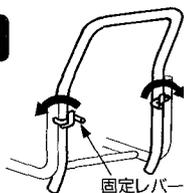


座と一体で無段階に角度が調整できるリクライニング式です

- リクライニングレバーをグリップと一緒に握り後方へ倒し、止めたい位置でレバーを離せば止まります(その際介護者が胸や肩、腕でしっかり支えるようにして下さい)
- 介護用ブレーキのついてるものはレバーが2種類ついてます。前内側についてるレバーがリクライニング用で、後外側についてるレバーが介護者用のブレーキレバーです。

- 搭乗者の身体の一部及び衣服等を狭まないうち注意しながらゆっくり操作して下さい。
- 人が乗ってる時にグリップ及びヘッドレストで車椅子を持ち上げたり押えて前を浮かす様な事はしないで下さい。
- 介護用ブレーキが取り付けられている場合は前内側に取り付けてあるものがリクライニングレバーです。レバーをまちがえて操作すると大変危険です。よく確認してから操作して下さい。

9



固定レバー

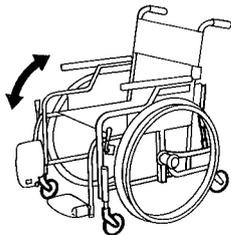
- バックレストの倒し方
背部固定レバーを上方外側へ回転させ、レバー受けから外しバックレストを後方へ倒します。
- バックレストのもどし方
バックレストを通常の位置まで越し、背部固定レバーを内側へ回転させて、レバー受けに入れてセットします。

- 搭乗者が背にもたれてる時には倒さないで下さい。

10

操作の仕方

△注意点



6輪車

●車輪が一般より前に有り後にもキャストがついています。前を浮かせるつもりで背上部に身体をあづけ、車輪を強く前へ漕ぎ前を浮かせて段差を越える事が出来ます。又片手片足の使える方は前を浮かせるつもりで背上部に身体をあづけ、ハンドリムをしっかりと握りながら片足で地面を強く踏み込みますと前が浮き上がり、段差を越えることが出来ます。

●高さ調整

①キャストの上部で止めてあるネジを外し下げたり上げたり調整後、ネジでしっかり固定します。

②車輪の内側のナットを外し車輪を外してブラケットを移動し、車輪でブラケットも一緒に固定します。

③後ろのキャストを支えているガススプリングの取り付け位置を変えて固定します。

※1、2、3共位置が合っていないといけません、必ず合わせて下さい。ガススプリングの取り付け位置も前後移動し体重に合せられます。

●バックレストは折りたたみ式ですF-3をお読み下さい。

- 車輪まで浮き上がる様なやり方はしないで下さい。
- 段差に対して必ず直角に登ったり下ったりして下さい。又段差の所で回転したり、前後のキャストがひっかかったままで強く動いたりしないで下さい。
- 前を下ろす時もゆっくり行って下さい。
- 調整後は必ず、しっかり固定されてるが確認の上ご使用下さい。
- 3cm以上の段差は必ず介助を受ける様にして下さい。

11

G セクション

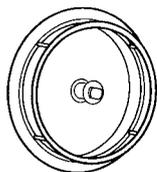
車輪

1

操作の仕方

△注意点

保守点検

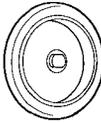
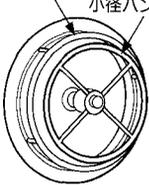
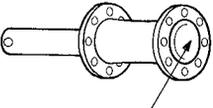
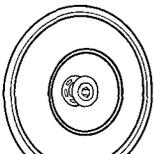


一般用車輪

- ハンドリムを握り、本人が前へ押ししたり後へ引いたりする事で、前進又は後退します。
- 走行中のブレーキはハンドリムを握って止めます。

- 車輪とフレームの間、泥よけのついてるものはその間、スポークの間等に指や衣服が挟まらないよう注意して下さい。
- 直射日光のあたる場所、火気の近く高温な場所は避けて下さい。
- タイヤを持って漕ぐとブレーキとの間で指を挟む事がありますから注意して下さい。

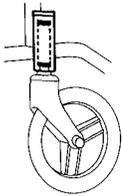
- タイヤの空気圧は種類によって異なります。タイヤの説明書又はタイヤ側面の表示を守って下さい。(ポンド表示の場合は約1/15がKg/cm²の目安となります)
- ハンドリムのキズで手を切る事があります。サンドペーパー、ヤスリ等で滑らかに補修して下さい。
- 車輪のガタ緩み、スポークの折れ、曲り、緩み等チェックし補修して下さい。
- タイヤの摩耗をチェックしタイヤの溝が無くなりかけたら交換して下さい。(修理調整ができない場合は販売店又弊社までお問い合わせ下さい)

2	操作の仕方	△ 注意 点	保 守 点 検
 <p>小径車輪</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●ハンドリムがありませんので本人が直接駆動する事はできません。 ●介護者がグリップを握り車いすを後方から押すためのもので、コンパクトにするため小車輪が使われています。 	<ul style="list-style-type: none"> ●車輪とフレームの間、泥よけのついているものはその間、スポークの間等に指や衣服が挟まらないよう注意して下さい。 ●直射日光のあたる場所、火気の近く高温場所は避けて下さい。 ●樹脂性タイヤの場合バンク・空気の補充の心配はありませんが、ブレーキをかけ長時間放置しますとタイヤへへみができる事があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ●タイヤの空気圧は種類によって異なります。タイヤの説明書又はタイヤ側面の表示を守って下さい。(ポンド表示の場合は約1/15がKg/cm²の目安となります) ●車輪のガタ緩み、スポークの折れ、曲り、緩み等チェックし補修して下さい。 ●タイヤの摩耗をチェックしタイヤの溝が無くなりかけたら交換して下さい。(修理調整ができない場合は販売店又弊社までお問い合わせ下さい) ●樹脂ホイールの場合は変色、ヒビ等をチェックして下さい。変色、ヒビのひどい場合は交換して下さい。
<p>3</p> <p>大径ハンドリム</p> <p>小径ハンドリム</p>  <p>片手操作</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●片側で左右それぞれの車輪を操作するものです。 ●己本のハンドリムを同時に握って漕ぐと左右両輪が回ります。 ●大径の方のハンドリムを漕ぐとその側の車輪が回ります。 ●小径の方のハンドリムを漕ぐとその反対側の車輪が回ります。 	<ul style="list-style-type: none"> ●車輪とフレームの間、泥よけのついているものはその間、スポークの間等に指や衣服が挟まらないよう注意して下さい。 ●直射日光のあたる場所、火気の近く高温場所は避けて下さい。 ●タイヤを持って漕ぐとブレーキとの間で指を狭む事がありますから注意して下さい。 	<ul style="list-style-type: none"> ●タイヤの空気圧は種類によって異なります。タイヤの説明書又はタイヤ側面の表示を守って下さい。(ポンド表示の場合は約1/15がKg/cm²の目安となります) ●ハンドリムのキズで手を切る事があります。サンドペーパー、ヤスリ等で滑らかに補修して下さい。 ●車輪のガタ緩み、スポークの折れ、曲り、緩み等チェックし補修して下さい。 ●タイヤの摩耗をチェックしタイヤの溝が無くなりかけたら交換して下さい。(修理調整ができない場合は販売店又弊社までお問い合わせ下さい)
<p>4</p>  <ul style="list-style-type: none"> ○ゴムキャップ ○大型プッシュボタン <p>脱着車輪</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●取り外し方 片方の手で車体を少し持ち上げて傾け、もう一方の手で車輪中心のゴムキャップが大型プッシュボタンを押したまま車輪を外側へ引き抜いて下さい。 ●装着の仕方 取外した時のように車椅子を傾け、車輪中心部のゴムキャップが大型プッシュボタンを押したままハブシャフトを脱着ソケットに差し込みます。 ※装着後リターンロックピンがカチッと元に戻った事を確認して下さい。車椅子操作はG-1と同様です。 	<ul style="list-style-type: none"> ●車輪装着の際にリターンロックピンがカチッと元に戻ってロックされた事を確認してからご使用下さい。 ●外したハブシャフトにゴミ等が付着するとロックしなくなる恐れがありますので注意して下さい。 ●車輪とフレームの間、泥よけのついているものはその間、スポークの間等に指や衣服が挟まらないよう注意して下さい。 ●直射日光のあたる場所、火気の近く高温場所は避けて下さい。 ●タイヤを持って漕ぐとブレーキとの間で指を狭む事がありますから注意して下さい。 	<ul style="list-style-type: none"> ●シャフト先端部へのゴミの付着、スチールボールの脱落、リターンロックピンの戻りをチェックして下さい。 ●タイヤの空気圧は種類によって異なります。タイヤの説明書又はタイヤ側面の表示を守って下さい。(ポンド表示の場合は約1/15がKg/cm²の目安となります) ●ハンドリムのキズで手を切る事があります。サンドペーパー、ヤスリ等で滑らかに補修して下さい。 ●車輪のガタ緩み、スポークの折れ、曲り、緩み等チェックし補修して下さい。 ●タイヤの摩耗をチェックしタイヤの溝が無くなりかけたら交換して下さい。(修理調整ができない場合は販売店又弊社までお問い合わせ下さい)
<p>5</p>  <p>ネジ脱着式</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●取り外し方 片方の手で車体を少し持ち上げて傾け、もう一方の手でハブシャフトを付属の六角棒レンチで緩めて取り外します。 ●装着の仕方 取外した時のように車椅子を傾け、ハブシャフトを六角棒レンチで締め込んで下さい。最後までしっかりと締め、締ったかを確認して下さい。 	<ul style="list-style-type: none"> ●車輪とフレームの間、泥よけのついているものはその間、スポークの間等に指や衣服が挟まらないよう注意して下さい。 ●直射日光のあたる場所、火気の近く高温場所は避けて下さい。 	<ul style="list-style-type: none"> ●タイヤの空気圧は種類によって異なります。タイヤの説明書又はタイヤ側面の表示を守って下さい。(ポンド表示の場合は約1/15がKg/cm²の目安となります) ●車輪のガタ緩み、スポークの折れ、曲り、緩み等チェックし補修して下さい。 ●タイヤの摩耗をチェックしタイヤの溝が無くなりかけたら交換して下さい。(修理調整ができない場合は販売店又弊社までお問い合わせ下さい)

H セクション

キャスタ

1



ゴム締め式

操作の仕方

- フレームにはキャスタ取り付けパイプの中でネジを締める事により、ゴムが膨んで止まる方式です。

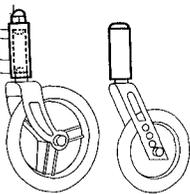
△ 注意 点

- 段差にぶつかったり、車椅子を高い所から落したり、前を浮してキャスタから落ちたりするとキャスタが壊れる恐れがあります。十分注意して御使用下さい。
- 踏切等では、キャスタは溝に対して直角に又、溝の広い場合はキャスタを少し浮かすようにして渡して下さい。又溝に落ちた場合無理に動かすとキャスタが壊れる恐れがありますのでキャスタの近くを持ち上げて脱出して下さい。
- 空気入りタイヤの場合は常に適正な空気圧でご使用下さい。

保守点検

- キャスタが抜け落ちて来ないか
- キャスタが緩んでないか
- フォークの変形、ヒビ、キズ等は大丈夫か
- タイヤの摩耗は大丈夫か
- 空気入りタイヤの場合はタイヤ側面の空気圧表示を目安に少ない場合は補充して下さい。

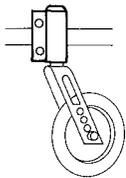
2



ベアリング式・スポーツ用

- フレームにはキャスタブラケットの上下を、ベアリングで止める方式です。

3



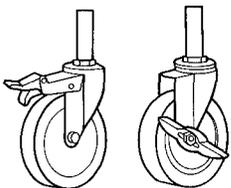
ニューモス用

- フレームにはキャスタブラケットをネジで止め、角度取り付け位置が変えれます。キャスタブラケットの上下をベアリングで止める方式です。

- キャスタが抜け落ちて来ないか
- キャスタが緩んでないか
- フォークの変形、ヒビ、キズ等は大丈夫か
- タイヤの摩耗は大丈夫か
- 空気入りタイヤの場合はタイヤ側面の空気圧表示を目安に少ない場合は補充して下さい。

※キャスタの角度調整及び取り付け位置・サイズ変更等は、販売店の専門技術者にお任せ下さい。

4



ストッパー付

- フレームにはキャスタ取り付けパイプの中でネジを締める事によりゴムが膨んで止まる方式と、キャスタ取り付けパイプにネジが切っておりネジ込んで止める方式とがあります。
- ブレーキのかけ方
足でレバーを踏んでブレーキをかけます解除はその反対を踏めばブレーキが解除します。

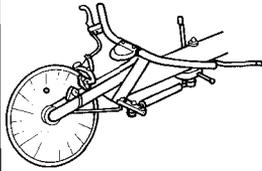
- 段差にぶつかったり、車椅子を高い所から落したり、前を浮してキャスタから落ちたりするとキャスタが壊れる恐れがあります。十分注意して御使用下さい。
- ブレーキをかけていても片方のキャスタが浮いてる場合は簡単に車椅子が動いてしまいます。動かないか確認してから御使用下さい。

- キャスタが抜け落ちて来ないか
- キャスタが緩んでないか
- フォークの変形、ヒビ、キズ等は大丈夫か
- タイヤの摩耗は大丈夫か
- 空気入りタイヤの場合はタイヤ側面の空気圧表示を目安に少ない場合は補充して下さい。

H セクション

キャスト

5



レース用前輪

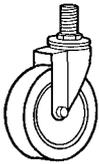
操作の仕方

- ハンドルで左右方向を変えます
- ハンドブレーキでスピードを落す事ができ、又ロックボタンで駐車ブレーキとしても使えます。
- 常に決めた位置に戻す方向強制スプリングと方向強制レバーにより方向を調整できます。又そのレバーの範囲も調整できハンドルを操作した後もセットした前輪角に戻ります。
- 前輪を付属の六角棒レンチで取り外す事ができます。
- サイクルコンピューターを取り付けてあります。使用方法は専用の説明書をお読み下さい。

△注意点

- 走行中前輪をハンドブレーキで止めないで下さい。スピードが出ているとコントロールを失うとかタイヤが切れる恐れがあります。
- スピードの出てる時に急に大きくハンドルを切らないで下さい転倒する事があります。
- 空気はチューブラタイヤ専用の説明書をお読み頂き空気圧を守って下さい。
- 前輪を取り付ける時は左右確認して下さい。(マグネットとセンサーが合う様に)
- 車軸の締め付は十分を確認してからご使用下さい。

6



ネジ込みキャスト

- フレームへの取り付けはネジ方式でネジを締め込んで止まっています。

- 段差にぶつかったり、車椅子を高い所から落したり、前を浮してキャストから落したりするとキャストが壊れる恐れがあります。十分注意して御使用下さい。
- 踏切等では、キャストは溝に対して直角に又、溝の広い場合はキャストを少し浮かすようにして渡って下さい。又溝に落ちた場合無理に動かすとキャストが壊れる恐れがありますのでキャストの近くを持ち上げて脱出して下さい。
- ⑤**キャストが抜け落ちて来ないか点検し緩んでいる場合は締め込んで下さい。

I セクション

シート

1

素材及び操作の仕方

- ビニールレザー
一般的な車椅子に多く使用されているシート材料です。裏面はメリヤス裏地でシートの中には芯地を入れてシートの強度を確保しています。

△注意点

- ストーブやタバコ等の火気には近づけないで下さい。
- シンナー等をつけないで下さい。
- 直射日光のあたる場所、雨のあたる場所等での保管はできるだけ避けて下さい。

保守点検

- 中性洗剤を染み込ませた布で泥や汚れを拭き取り、その後水で濡らした布で洗剤をきれいに拭き取って下さい。
- シートを止めてるネジのゆるみはないか点検しゆるんでいる場合は締めして下さい。

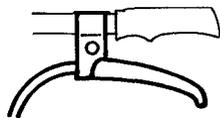
2

- ナイロンキャンバス
ナイロン繊維製でビニールレザーと比べて軽く、引っ掻きに強いが汚れがつきやすいシートです。シートの中には芯地を入れて、シートの強度を確保しています。

3	素材及び操作の仕方	△注 意 点	保 守 点 検
	<ul style="list-style-type: none"> ●布シート 布製で吸湿性にすぐれてるが、そのため濡れやすく汚れもつきやすいシートです。室内専用によく使われています。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ストーブやタバコ等の火気には近づけないで下さい。 ●雨などに濡れたり矢筈等の場合は染み込んでしまい、特に中にスポンジの入ってるものは大変乾きにくいので注意して下さい。 ●シートの下にスプリングの入ってるものは部分的に強い力で押えたり登ったりしないで下さい。 	<ul style="list-style-type: none"> ●カバーになってるもので外せるものはクリーニングできます。
4	<ul style="list-style-type: none"> ●高質発泡材シート シャワー、入浴、トイレ等特殊な車椅子についているシートです。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ストーブやタバコ等の火気には近づけないで下さい。 ●シンナー等をつけないで下さい。 ●シートの上に物を乗せて置くと跡がついて取れない場合がありますのでご注意ください。 ●固いスポンジのためマヒの有るような人は長時間座らないで下さい。 	
5	<ul style="list-style-type: none"> ●ヒモマジック調整式 ヒモとマジックテープで張り具合が調整できるシートで、お好みの状態に調整して下さい。調整後は緩んだり外れたりしないよう、しっかり止めて下さい。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ストーブやタバコ等の火気には近づけないで下さい。 ●シンナー等をつけないで下さい。 ●調整後はしっかり止めて下さい。又時々確認をして下さい。 ●張りすぎるとフレームへの影響とシートが無理する事が有りますので張りすぎないように注意して下さい。 	

オプション

1

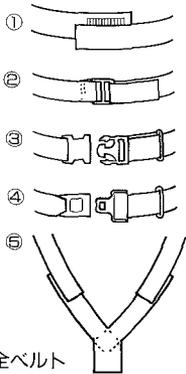


介護用ブレーキ(ハンドブレーキ)

操 作 の 仕 方	△注 意 点
<ul style="list-style-type: none"> ●介護者が下り坂、止まる時に補助的に使うものでグリップと一緒にレバーを握ればブレーキがかかります。 	<ul style="list-style-type: none"> ●下り坂などでブレーキに頼りすぎると危険です。又急ブレーキをかけると急に方向が変わったり凹凸に対応できなったり危険です。あくまでも補助としてお使い下さい。 ●保守点検 握り代が多くなって利きが悪くなったり左右の利きが違ってきたらワイヤー調整をして下さい。

オプション

2



安全ベルト

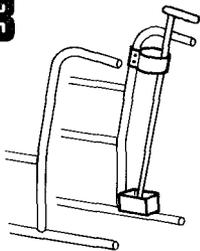
操作の仕方

- 乗っている姿勢がくずれやすい人、不安定な人が安定した姿勢を保てるように使うものです。
- ①ベルトに着いているマジックテープで合せて止めます。
- ②金具にベルトを通し折り返してマジックテープを合せて止めます。
- ③プラスチックのバックル部分を差し込んで止め外す時は上下の横の部分の両側をつまんで引き抜きます。
- ④差し込んで止め、解除ボタンを押して引き抜きます。
- ⑤おしりが前へずれないためのベルトでマジックテープを合せて止めます。

△注 意 点

- シートベルトをうっかりおしりの下に敷いて長時間座っていると床擦れの原因にもなります十分注意して下さい。
- シートベルトをしたまま降りようとする車椅子と一緒に転倒する事があります十分注意して下さい。

3

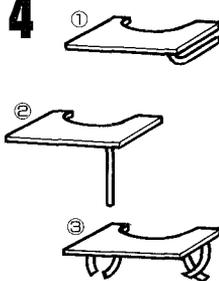


杖入れ

- テッピングレバーに杖を受ける箱とグリップの少し下にマジック式のベルトが取り付けてあります。杖を上から差し込むか、又は杖の先を箱に入れて上をマジックで止めて下さい。

- 杖の上だけ止まっている状態や振動によって外れた状態等に気づかずに居ると大変危険です。杖を入れた後などは確認してから操作する様にして下さい。

4

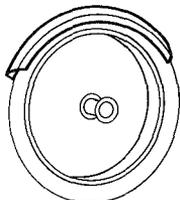


テーブル

- ①テーブルの裏側についてるパイプを車いすのアームレストの受けパイプに前から差し込んでノブネジで固定します。
- ②テーブルの裏側についてるパイプを車椅子のフロントパイプについてる受けパイプに上から差し込んでノブネジで固定します。
- ③テーブルの裏側についてるマジックテープで車椅子のアームレストに固定します。

- テーブルの上にお湯など熱いものに乗せ車椅子が少しでも動くと大変危険です又重いものも乗せないで下さい。
- 乗ってる人の上体をテーブルにあずけるような使い方は大変危険ですのでさせて下さい。
- テーブルをつけたまま走行するのは通行者にも危険です。外して走行して下さい。

5



泥除け

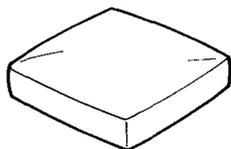
- タイヤについた泥のハネが上がらないために又乗ってる人の袖がよごれないためのものです。

- 泥除けに腰かけたり、泥除けに手をつけて強い力を加える等しないで下さい。
- 泥除けとタイヤの間で指を挟む事が有ります十分注意して下さい。

操作の仕方

△注 意 点

6

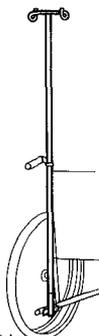


クッション

●長時間乗られる方のおしりの圧迫を少しでもやわらげるもので車椅子の座シートの上に敷いて使います。

●直射日光はできるだけさけて下さい。濡れた場合も中のクッションは直射日光をさけて陰干して下さい。
●ストーブ、タバコの火など火気に近づけないで下さい。

7

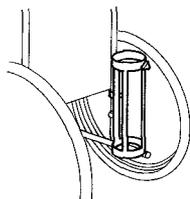


ガートル掛け

●車椅子に乗って点滴などを受けながら移動出来る様に車椅子に取り付けたもので、上はリング付の金具をバックレスト上部にクランプで止め下は受パイプをテッピングレバーに止めます。ガートル棒を上から差し込み下のノブネジを締め止めて下さい。

●後で取り付ける場合などは確実な取り付けをお願いします。
●点滴などは落ちないように取り付け段差、通行人には特に注意してゆっくりと走行して下さい。

8

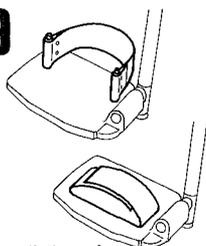


ボンベ架台

●車椅子に乗って酸素吸入をしながら移動できるように車椅子に取り付けたものです。上はバックパイプにパイプクランプで止め、下はテッピングレバーに差し込みさらにネジタッピング等で止めたものです。

●ボンベなどを乗せると後ろが重くなりバランスが悪くなります。乗降時、段差など特に注意して下さい。

9



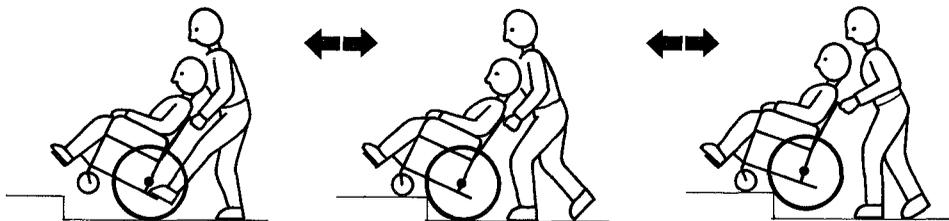
ヒールループ
アングルストラップ

●足が後ろへずれないようにかかとの部分を止めるもので、片足ずつ止める事ができます。
●足が前へずれないように足の甲の部分をマジックテープで止めます。ヒールループと合せて使うと前後にずれません。

●ヒールループの場合
フットプレートを折りたたむ時はベルトの部分を前へ出さないとフットプレートがピッタリ折りたためません。

知っておくと便利で安心!! —— 介護アドバイス

段差を上がる時、降りる時



①介護者は足元等を事前に確認して、十分な体勢を取って下さい。段差に対して直角に近づけてティップングレバーを前へ少し押し出すように踏み、同時にグリップを後ろへ少し引っぱるように押し下げて、前輪を浮かせます。急に上げると乗っている人がびっくりします。上げる前に伝えるようにして下さい。

②そのまま前に少し進み、そっと上段へ前輪を乗せ後輪が段差にあたるまで進みます。その際、前輪が上段の上へ来ている事を確認してからゆっくり降して下さい。

③グリップを持って後輪を浮かし、上段へ押し上げます。その際、乗っている人の頭を介護者が、胸やおなかで支えながら押し上げると、比較的楽で安心感もあります。

〈降りる時はこの逆の方法で行って下さい〉

急坂の登り下り



登る時は前向きで/
下る時は後向きで/

●坂を前向きで下ると乗っている人が前へずり落ちる、前へ倒れる、段々スピードが出てしまい易い等、非常に不安定になります。又介護者が、バランスを失った時も危険です必ず、下る時は後向きで行って下さい。但し、自分で操作される方は後向きで坂を下らないで下さい。

溝を越える時



●踏切りとか溝のある場合、溝に対して直角に近づけ段差と同じ要領で前輪を浮かして進み、溝を越えてからゆっくりと降します。後輪が小径の場合は溝に落ちない程度浮かし気味で越えて下さい。(後を上げすぎると乗ってる人が前へ倒れたり落ちる事が有りますので御注意下さい)

段差、傾斜他の横断



●傾斜地又は段差の所を横切の場合、基本的には段差、急坂、溝での操作説明で説明した要領で行って下さい。どうしても横切らなければならない場合、片方へ傾斜した道路などでは(車椅子が急に低い方へ向いてしまう)〈乗ってる人が低い方へ倒れるので車椅子も一緒に倒れる恐れがある〉等の点に注意して下さい。又車椅子の方向、乗ってる人の傾きを十分注意しながら行って下さい。

※段差・急坂の場合、介護者は低い方で支えましょう。通路等では危険な側で支えましょう。



永くご使用して頂くために、保守・点検・整備をこまめに行って下さい。
不調にお気づきの時は、お早目に販売店又は弊社までご連絡下さい。

定期的に点検・清掃を!

- 中性洗剤を染み込ませた布で、泥やホコリなどの汚れを拭き取り、その後空拭きで洗剤をきれいに拭き取って下さい。
- ハンドリムなどの表面のキズを見つけた場合は、安全のため紙ヤスリで滑らかにしておきましょう。
- 清掃時には各部のキズ、亀裂、ボルト、ナット類の緩み、タイヤの残り等を合わせて点検

し、緩み等があれば締めましょう。各ジョイント部への給油も行って下さい。

- 清掃後はワックスをかけておくと美しさが長持ちし、汚れにくく汚れた時も汚れを取りやすくします。
- タイヤの空気圧をチェックしましょう。タイヤの側面に空気圧が表示してありますから、参考にして補充して下さい。(ポンド表示の場合は約 $\frac{1}{16}$ をkg/cm²の目安して下さい)

製品を安全にご使用頂くために

- 使用者最大体重は積載物も含んだ重さです。体重制限を守って使用して下さい。
- 段差や凹凸等のある路面等を走行する時は、前のめりにならないように、注意して操作して下さい。
- 自走用であっても介助用として使用する可能性がある場合は、制動用ブレーキ及びシートベルトが付いているものを選んで下さい。



SGマーク制度は、車いすの欠陥によって発生した人身事故に対する賠償制度です。

アズワン株式会社

カスタマー相談センター

TEL : 0120-711-875 (フリーダイヤル)

FAX : 0120-700-763 (フリーダイヤル)

受付時間 : 午前9時 ~ 午後5時30分まで

土・日・祝日及び弊社休業日はご利用いただけません。